

平成28年度 学校法人 三幸学園 大阪ビューティーアート専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 加藤 裕美

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 小峯 英樹

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、美容分野の学校として「美容を通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、美容分野として「美容を通じてサロンと組織を活性化させる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

『就職すると理想と現実のギャップがある為精神面を鍛える授業を行ってほしい』という昨年の意見をもとに今年も引き続き、掃除や挨拶の徹底を強化し、現場での必要性と重要性について説明している。

根気のない学生にも丁寧に何回も繰り返指導を徹底している。

教員の教育研修などを行い学生の指導に取り組んでいる。

② 学校関係者評価委員会コメント

業界で勤務する人材育成として最低限のマナールールを身につけて卒業させてほしい。

貴校で大切にしている挨拶・清掃・整理整頓などは社会人として1番大切な事柄でもあるのでしっかりと2年間教育していただきたい。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

授業がスタートしてから1ヶ月後に学校運営や目標などをご理解頂きたく保護者会を行い、各クラス担任からの直接クラス目標・育成の人材像などをお話させていただき保護者様からの感想も好評でしたが参加者

の人数がクラスによってばらつきがあったので来年は内容を充実させ保護者の参加をより多くしたいという課題がある。

③ 今後の改善方策

担任教員のスキル・トーク内容をもっと充実させる。

④ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

保護者を巻き込み学校に協力していただくことは退学防止策にもなるので更にパワーアップさせていく

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

就職すると理想と現実のギャップがあるため精神面を鍛える授業を行ってほしいという昨年の要望にあまり応えられていない。

H31年度に向けて情報のシステム化を推進するために新学生管理システムの導入をする

② 今後の改善方策

なし

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

学校で挨拶の重要性や授業1つ1つの必要性などを学生のうちに理解させ行う必要がある。

（社会にでてから気付くことが多くそこで社会と学校でのギャップが生まれると思う）

教員の中で馴れ合いが生じるため、外部からの講師を招く。外部講師を招くことによって周りの教員に刺激がもらえる。

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

関連分野における実践的な職業教育の項目では、産学連携に取り組んでいるがまだまだ改善に時間がかかるのが現状

人材育成の仕組みは取れているが、採用人数が多いため完全に把握するのは困難

② 今後の改善方策

人材育成の項目では、最初の人材確保が難しく、また育成に時間がかかるのが課題教職員の育成についてはOJTを導入し、メンバーのスケジュール管理・状況把握を行っていく

③ 特記事項

職員の能力開発の項目では、昨年から学園内に教育開発部というセクションが設置され、教員研修を春に行っている。

④ 学校関係者評価委員会コメント

教職員の中で馴れ合いが生じる為、外部から講師を招く。外部講師を招くことによって周りの教員が刺激をもらえる外部講師には人間力を高める授業を行ってもらおう。

挨拶ができない学生が多い中、学生参加型の環境を作り、実践でメンタルを鍛える授業をいしてほしい卒業してから実践になる授業だと理解することができたので、最初の段階で技術を学ぶ準備と説明をしっかりと学生に伝えることが大切だと思う。

専門学校に進学したばかりの時期は、目に見えてプラスになることは実行できるが、目に見えないことはやる意味があるのかと疑問に思う。2年生に進級すればある程度業界のことも理解できるが、理解するまでの期間の教育が非常に難しい。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

卒業したらつながりのなくなる学生がいる

② 今後の改善方策

就職後のフォローを学生・教員間で連携をしっかりとって情報の提供に力を入れていく

③ 特記事項

なし

⑤ 学校関係者評価委員会コメント

卒業生の活躍・評価等はまだまだ把握しきれていないが同窓会サイトを作成し、WEB上で連絡を取り合い情報交換の充実化を図ってはどうか

(5)学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3

課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	4
中途退学者への支援体制はあるか	2
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

健康診断は実施している。

卒業生全体の支援体制はあまり充実していない

② 今後の改善方策

同窓会などをもっと活用し卒業生とのパイプ作りに力を入れる。

③ 特記事項

学校側も就職後の状況を把握しておきたい。退職したことを言えない学生が多いが、今後は卒業時に退職・転職の報告を義務づけるように促す。

④ 学校関係者評価委員会コメント

自分で検索した転職手助けサイトに登録し、再就職した。母校で再就職斡旋サイトのような案内があればいいと思う。

転職を悩む際、母校に話を聞いてくれる先生がいるだけでも救われる。

担任以外でも就職担当者が転職含め就職状況に関して対応できる体制を作りたい

悪徳な斡旋業者もある為、学校で安全性を確保した中途採用の情報を提示してあげてほしい。

就職先を辞める時、学校に伝える意志がそもそもない。なぜ、学校に伝える義務があるのか？

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

学校内の壁などが剥がれている箇所がある

② 今後の改善方策

夏休みなどの長期休みを使い修繕する予定

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

なし

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

昨年同様、問題なく順調

② 今後の改善方策

なし

② 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

なし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

中長期事業計画は2012年に策定したが、当該計画は前倒しで終了しているため、今年度に更なる中長期計画を策定する必要性がある。

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

ホームページ上の公開については抜粋版が公開となっているが、今後は事業報告などの詳細な情報の公開が必要。

② 今後の改善方法

【中期計画】

今年度に新中期計画を策定する予定である。

【財務情報の公開】

今年度よりホームページ上の法人の事業報告書を公開する予定である。なお、当該報告書には財務情報にかかる詳細データを掲載する事となっている。

③ 特記事項

なし

【委員コメント】

・特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

なし

② 今後の改善方策

なし

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

なし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

① 課題

地域貢献は実際に行っていないが美容に関するボランティアには参加している

② 今後の改善方策

地域貢献できるボランティアにも参加できるようにしたい

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

なし

(11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	
学内で適切な体制が整備されているか	

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

④ 学校関係者評価委員会コメント

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

本校の教育理念である「技能と心の教育」を掲げ 技術・知識はもちろん、心の教育にも力を入れて教育している。また外部講師の授業を取り入れ学校職員だけの目線ではない部分も取り入れられておりより良い授業をしていると思う。

離職率を低減させるため、理想と現実のギャップを埋める必要があり、学校でも今まで以上に挨拶・掃除など当たりまえのことをあたりまえにできる学生育成に努めてほしい。

学生時は、サロンで活用できる技術を学んでも重要性がわからなかったが卒業してから必要性が理解できたので最初の段階でもっと技術を学ぶ準備と説明をしっかりと学生に落とし込むことも必要不可欠である。

全般的に昨年より維持・改善ができており健全な学校運営ができていていると思われる。